

自転車の交通安全



ヘルメットをかぶろう



自転車は、自動車やバイクなどと同じ車の仲間です。道路で乗る場合は、車としての交通ルールやマナーを守らなければなりません。きまりやマナーは知っているだけでなく、正しく守ることが大切です。

◆◇◆自転車に安全に乗るためには◆◇◆

体に合った自転車に乗る

サドルにまたがってハンドルやブレーキに手が楽にとどく、両足が地面につくぐらいの大きさのものが目安です。

点検をした自転車に乗る

自転車に乗る前に、安全な自転車かどうか簡単な点検をしましょう。

点検をする部分は「ブタハシャベル」で覚えましょう。



ぶたはしゃべる
ブレーキ・タイヤ・ハンドル
しゃ車体(反射板・ライト・サドル等)・ベル

◆◇◆正しい発進と停止◆◇◆

発進の仕方

見通しのよい道路の左はしで、左側から自転車にまたがり右足をペダルにかけます。次に後ろと前の安全を確かめて、右足から踏み出しましょう。

ブレーキのかけ方

速さを調節したり、止まったりするときはブレーキを使いましょう。しずかに後輪のブレーキをかけて、速さの加減をして、ゆっくりと止まりましょう。



左手が後輪のブレーキ

右足はペダル

左足は地面

◆◇◆自転車のきまり◆◇◆

自転車の通るところ

車道の左はしを通りましょう。歩道がある場合は、13才未満の小学生は歩道を通ることができます。歩道では、車道よりを徐行し、歩いている人のじゃまをしないようにしましょう。

道路を走っているとき、横断するとき

信号を守りましょう。道路を横断するときや交差点などでは、止まって安全を確かめてください。一時停止の標識も同じです。



はじめて自転車に乗る人は、公園などで練習をしてお家の人と道路で乗ってもいいか相談してから乗りましょう。自転車の交通ルールは、他にもたくさんあります。しっかり守って、交通事故にあわないように安全に乗ってください。

